

# デジタル音響デザイン

選 択

開講年次：4 年次前期

科目区分：講義＋演習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：映像やアニメーションなど、時間軸の中で画像が動くことによって、必然的に音による表現も必要となる。動画に対応したサウンドや効果音等について、サンプリングやリミックスによる音響表現を学ぶ。多数の事例を紹介し、音響が映像に与える影響や効果について理解を促し、デジタルコンテンツの中でも広域な表現分野である「音」のデザインを習得する。

■**到達目標**：①ネット社会における音響表現について理解する。  
②サウンドシンセシスの基礎について理解する。  
③指定されたサウンドファイルを作成、提出できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎久保 壽光・伊藤 博之

■**授業計画・内容**：

第 1 回	オリエンテーション	(久保)
第 2 回	DAWとは？ 音律史～DAWオペレート	(久保)
第 3 回	DAW演習：ハイブリッドコードでミニマルを作る	(久保)
第 4 回	DAW演習：BPM変化でメロディラインを作る	(久保)
第 5 回	DAW演習：フィールドレコーディングでコンクREETを作る	(久保)
第 6 回	DAW演習：時間を歪める（タイムワープ、オーディオワープ、スライス）	(久保)
第 7 回	視覚の音響化① 図形楽譜を書く	(久保)
第 8 回	視覚の音響化② 図形楽譜を演奏する	(久保)
第 9 回	音響の視覚化① FFT概論	(久保)
第10回	「サンプリングとボーカロイド」	(伊藤)
第11回	「音楽と著作権」	(伊藤)
第12回	音響の視覚化② EQ～フォルマント～個体共鳴	(久保)
第13回	DAW演習：指向性と理想音源～サラウンド	(久保)
第14回	DAW演習：空間と場所（音楽理論史と再生空間の共軌性～Reverb）	(久保)
第15回	DAW演習：音響～ノイズ（環境ノイズ、服飾ノイズ、テクノイズ）	(久保)

■**教科書**：特にありません。

■**参考文献**：「音楽社会学」マックス・ウェーバー（著）、安藤英治（翻訳） 創文社  
「音楽記号学」ジャン＝ジャック・ナティエ（著）、足立美比古（翻訳） 春秋社

■**成績評価基準と方法**：提出課題100%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度					
発表					
課題・作品	◎	◎	◎	仕様に沿っていること。	100
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：